

## 告 辞

新入生の皆さん、函館工業高等専門学校にご入学おめでとうございます。

ご家族ならびに保護者の皆様のお喜びもひとしおのことと、心よりお祝い申し上げます。本日ここに、ご来賓関係各位のご臨席のもと、本科第一学年新入学生二一八名、第四学年編入学生一名並びに専攻科新入学生第一学年二九名、合計二四八名の新しい学生の皆さんを迎え入れて、この栄えある入学式を挙行できますことを、私ども教職員一同、感謝申し上げる次第でございます。

本科に入学される皆さんは、これまでに学校説明会、学校見学会、報道やホームページなどを通じて函館高専の特色について理解されていることと思います。ご家族が高専出身者または在学者であった場合はもっとよくご存知のことと思います。

皆さんは、進路として理系を選択したことは確かでしょうが、将来何になりたいかはまだ漠然としているであろうと思います。しかし、選択に際しては必ずきっかけがあったはずです。理系を選択したご自身の感性に自信を持ち、学習を進めながら将来の進路を決めてください。私たちはその手助けをします。

皆さんの中には、普通高校への進学も視野に入れて比較ののち、本校への入学を選択された方もいることと思います。本校の特色ある授業は、低学年

から始まる実験・実習と創造演習です。皆さんは、実験・実習を通じて科学や技術の常識を自然に身に付けることができます。実は科学・技術の常識の獲得は、普通高校卒業生を受け入れた理工系大学では、初年次教育で最も苦労をしている点です。また、高専では早いうちから創造演習などの授業を通じて発表やコミュニケーションの能力に磨きをかけていきます。これらは、皆さんの生涯を通じての大きな財産になるはずです。

一方で、習うより慣れる式の学び方には、思考を一時的に停止させる危険性もあることを指摘しておきます。なぜこのようにするのか、を常に自分で理解しながら習得してください。これ以上学ばなくて良い、という姿勢は将来の可能性を閉ざすこととなりますので、皆さんの好奇心を封じることなく、予習と復習を重ねて基礎学力を磨いてください。

昨年、二人の日本人研究者がノーベル化学賞を受賞したことは記憶に新しいことと思います。一九六五年に、量子電磁力学分野の基礎的研究で、日本人として二人目のノーベル賞を受賞した朝永振一郎博士は、洒脱な方でしたが理論面では緻密であったようです。朝永博士と共同受賞したりチャード・ファイマン博士は小さい頃から、物事を何回もわかりやすく置き換えて理解することに努めていた、と自著で述べています。何事も理解を深めることで、他人にもわかりやすく教えられるようになります。このことは皆さんにも当てはまります。繰り返しますが、なぜ、こうなるのか、を常に自問し、人にわかりやすく伝えられる程度にまで理解を深めてください。本校の教育

目標であるコミュニケーションスキルと情報を活用する能力の獲得につながります。

さて、本科に入学される皆さんも、専攻科に入学される皆さんも、これから新たな環境での学校生活が始まります。本科に入学される皆さんは少しづつ、これまでとは違うことを学んでいきます。最初は易しく思える教科があったとしても、油断をしないでください。特に入学直後から五月までに、気を抜かずに勉強してください。専攻科に入学される皆さんは、学科を横断して構成されるクラスで、より高度で実践的なテーマに取り組みながら学びます。特別研究を進める傍ら、プロジェクト型教育プログラムの創造実験では、より実践的なものづくり課題にチームで取り組みます。これらの成果発表や学会発表などを通じて、自身の研究成果を社会に向けて発信することの重要性を改めて認識されることでしょうか。

高専では、一貫教育の中で、社会で高度な技術者として働くために必要とされる工学の基礎から専門までを、体系的に学べます。さらに専攻科や大学そして大学院までの進路も選択肢に組み込まれているところに特徴があるのです。就職・進学を考える皆さんはどのような分野で自分を生かせるか、どこで生かせるかを常に考えて、こんごの進路を選択してください。

近年になって高等専門学校教育システムは、国内外から高い評価を得ております。昨年3月に日本機械工業連合会がまとめた機械工業高度化に必要とされる技術系人材像に関する調査研究報告書では、高専は国際的評価が高

いこと、高専教育は企業ニーズとのギャップが少ないこと、創立時から実践性重視の教育を継続・発展させてきた実績があること、入学者はものづくりが好きで入学する層が多いといわれていることなど、現在の企業が技術系人材に求めるような教育を高専が実施している点を高く評価しています。本校は、この高専に対する高い評価に甘んじることなく、改善を重ねて参ります。学生の皆さんもそれに応えて研鑽に励んでください。

本校には七学年にわたる学生が集まり、留学生の皆さんも共に学んでいます。学校では集団の多様性を大事にし、お互いを尊重しあう人間関係を築きあげてください。函館高専生の誇りを持って、科学・技術の神髄に触れることの喜びを味わい、人間的に大きく成長されることを願っています。

本日は誠におめでとうございます。

平成二三年四月五日

函館工業高等専門学校長

岩熊 敏夫